

2020年10月21日

臨床データ利用のお願い

海南病院では、以下の研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることをご希望されない場合などお問い合わせがありましたら、お手数ですが以下の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

内視鏡的逆行性膵胆管造影後膵炎予防に対する膵管ステント留置の現状

2. 研究責任者

海南病院 消化器内科 越山彩香

3. 研究の概要

内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)後膵炎は ERCP 関連手技において最も重要な偶発症の一つであり、時には重症化することもあります。膵管ステント留置は膵炎予防効果があるとされていますが、膵管ステント留置の明確な基準は示されていません。

そこで今回、当院におけるステント留置の現状を把握し、膵管ステント留置の適応について検討することにしました。対象は2018年1月から2020年9月までに当院でERCPを施行し、膵管ステントを留置した患者さんであり、検討項目は1)患者背景(年齢、性別、BMI、原因疾患)、処置内容(EST/EPST、胆管ステント留置、EPBD)、2)ERCP後偶発症の有無、3)ERCP後膵炎発症群と非発症群との比較としました。

ERCP後膵炎の予防は重要な課題であり、入院期間の短縮にもつながると考えられます。本研究は研究対象者への不利益及び危険性はなく、後方視的評価ではありますが、今後のERCP治療に有意義なものになると期待されます。

4. 研究方法

① 対象となる患者さん

2018年1月から2020年9月までに当院でERCPを施行し、膵管ステントを留置した方

② 使用する試料等

残余検体：使用なし(追加検査等はいりません)

カルテ情報：外来受診や入院時の採血結果、診断時の検査方法やその結果、CT画像検査所見、年齢、性別、臨床経過といったカルテ記事記載内容を使用します。

5. 個人情報の取扱い

貴重な患者さんの個人情報は、「個人情報保護法」及び「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」など各種法令に基づいて管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

6. 問い合わせ先・相談窓口

JA 愛知厚生連 海南病院 消化器内科 越山彩香

電話：0567-65-2511（代表）